



伊丹市立幼児教育センター通信

# ときめき ひらめき

Vol 27 (令和7年12月)  
発行: 伊丹市立幼児教育センター  
住所: 伊丹市千僧 1-1  
電話: 072-780-2488  
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

## ★小学校の音楽会を参観して～架け橋期に大切にしたいこと～

先日、市内のある小学校を訪問し、音楽会(児童鑑賞会)を参観しました。1年生は歌3曲、合奏を1曲演奏していたのですが、歌の1曲が、ご存じの方も多いと思います、私自身保育で取り入れたこともある「あおいそらにえをかこう」でした。ただ、1年生は曲想にあわせて強弱をしっかりとつけたり、学年全員で声を美しくそろえることを意識して歌っていました。同じ歌でも、ねらい・内容が「音楽に親しむ、歌う楽しさを味わう」という「遊びが学び」である幼児教育と、「音楽」という教科学習である小学校との違いを感じました。

ほとんどの5歳児が、就学したら就学前よりも大規模な集団で過ごすこととなります。1年生になってから、大きな集団でこのような学習(音楽会に向けての授業)を「楽しい、やってみたい、おもしろそう」と子ども自身が思えるためには、学校の授業の先取りではなく、幼児期に「歌うって楽しい、楽器で遊ぶのって楽しい」「友達と一緒に、力や気持ちを合わせて何かをするって楽しい」という経験を重ねておくことが大事(下記参照)で、そのような学びの土台を育むことの必要性を改めて感じました。

(幼児教育センター長 岡本)

架け橋期の5歳児の今、このような経験を重ねていますか？  
少し意識して保育を振り返ってみましょう

※この場合は、思いのままに歌ったり、簡単なリズム楽器で遊んだりなど、「表現する楽しさを味わう」ことですね

**自分の気持ちを  
自分の※言葉で表現する**

※この場合は、歌や楽器遊びになりますね

**自然**

知識及び技能の基礎

様々な素材や遊具に触れたり性質を知ったりする

音楽的な活動に限らず、遊びや生活の中でこのような経験を重ねることが、協同性を育みます

**ことば**

思考力・判断力・表現力等の基礎

自分の経験したことや考えたことを身近な人に聞いてもらう心地よさを感じる

学びに向かう力・人間性等

**愛情**

力を合わせて友達と一緒に活動し、最後までやり遂げる達成感を味わう

## ★おススメ保育専門書

☆紹介の専門書は貸本として幼児教育センターに置いておりますので是非ご利用ください。



心の力を育み 発達を支える

### 「保育におけるアタッチメント」

遠藤 利彦 著 〈東京大学大学院教育学研究科教授〉

出版社:チャイルド本社

安定したアタッチメントは、子どもが幸せに生きていく為の原点。保育の場におけるアタッチメントの基本や実践のポイントを解説したり「アタッチメント」のさまざまな疑問に答えたりします。



### 「はじめての100か月の育ちビジョン」今、保育者に求められることは？

編集代表 秋田喜代美〈幼児期までのこどもの育ち部会長〉

出版社:チャイルド本社

令和5年12月に閣議決定された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」その内容をキーワードを中心にわかりやすく解説。ビジョンの理念を取り入れ「こどもまんなか社会」を実現するために、保育者ができることを多数紹介します。

## ★アドバイザー通信「〈こどもも 保育者も 共に主体〉での循環で更に保育も楽しく！」

今年度も後半となり 2 回目の訪問に何う毎日です。訪問の中で「主体性」を大切にしたいというお声をお聞きする機会が増えたように思います。ある施設では、川に関する絵本を読んだことをきっかけにし、川の流れが繋がって海まで続いているということが感じられる様にと、子どもたちの目線に合わせて掲示を工夫されました。すると、そこから遊びが始まったとのこと。「山から水は流れてる」「水の下には魚がいる！」と魚釣り遊びになったり安芸の宮島のように水の中に鳥居があることを調べて実際に作ったり・・・と科学的な視点や日本の土地にも興味関心を向けてどんどん遊びが広がったとのこと。また、異年齢で遊んでおられることもあり、互いに刺激を受けて思いやる姿や年上の子の姿を見て「やってみたい！」と年下の子も達が遊び始めるなど学びが深まっています。

また違う施設では「どうぞのいす」の絵本から実際に子どもと椅子を作り玄関に置いてみられたところ、保護者や友達が座ったりする姿を見ることで、子ども達の心が揺さぶられ遊びが続いていました。またある時「ほげちゃん」という手作りの人形を作って椅子に座らせる等、保育者のちょっとした工夫でイメージの世界が広がり遊びが深まったそうです。

どちらの施設もこどもも保育者も互いに主体性を発揮するなかで学びが深まっていることが素敵だと感じました。大人もこどもも共に！をモットーにできたらいいですね！

幼児教育センター アドバイザー・架け橋期のコーディネーター (坂本 奈巳)

★お知らせ 12/26(金)の夜間の開館はありません★